

# 第43回奈良県中和病診連携の会報告

日時： 2019年2月9日（土）14時30分～17時00分

場所： 大和高田市立病院 放射線治療棟 3F 大会議室

参加者数： 医師 25名

院内職員（医師以外）7名

地域スタッフ（行政・訪問看護・居宅介護支援事業所等）5名 / 合計 37名

## <内容>

まず最初に、大和高田市医師会長 中谷晃先生より開会のお言葉をいただきました。

【Session 1】では、当院 地域医療連携センター長 高幣和郎先生座長のもと2つの講演を進行いたしました。

奈良県立医科大学 呼吸器内科学講座 助教 藤田幸男先生より「睡眠時無呼吸症候群の病態と治療」についてお教えいただきました。睡眠時無呼吸症候群（SAS）には、上気道の閉塞のために鼻、口で呼吸がなく無呼吸となるOSA（閉塞性睡眠時無呼吸）と中枢性の障害による無呼吸としてCSA（中枢性睡眠時無呼吸）があります。今回はOSAについて、肥満などの原因や解剖学的欧米人との比較、病態生理、高血圧や心疾患などの合併する疾患、診療の流れ、CPAP（持続陽圧呼吸）療法の有効性など幅広い内容についてお教えいただきました。会場からは敬遠されやすいCPAP療法を受入れてもらうための工夫している点などの質問があり、繰返しの説明が必要であることなど、その他たくさん



の質問にお答えいただきました。

次に、天理市立メディカルセンター 臨床検査技師 千崎香先生より「CPAP療法の実際～臨床検査技師の立場で～」について、お教えいただきました。在宅でできる携帯型SAS検査と入院でできるポリソムノグラフィ（PSG検査）の違い、CPAP療法介入の具体的方法やマスク選択や機種、モードなど常日頃の関わりを詳しくお教え頂きました。会場からは装着できるようになるまでの介入について質問があり、導入の最初数日間の関わりが大切であることなどお答えいただきました。



【Session 2】では、奈良県医師会 理事 春日宏友先生座長のもと進行されました。

奈良県立医科大学 呼吸器内科学講座 教授 室繁郎先生に「全身性疾患としてのCOPD～日常診療に潜む under diagnosed disease～」についてお教えいただきました。年齢を増す毎に有病率が上昇する、喫煙との関連や身体活動性と予後について、心血管系疾患において潜在する軽度COPD、また、COPDの介入が何らかの心臓への好影響があることなどやCOPDを合併している糖尿病や肺がんなどの予後に影響することなど疫学的内容から実際の治療に至るまで幅広い内容でのご講義がありました。会場からは受診紹介の基準についての質問があり、様々なステージからでも紹介は可能であることなどお答えいただきました。その他、様々な質問に熱心にお答えくださいました。



今後も研修会を継続して実施し、奈良県中和医療圏での病診連携を推進していきたいと思っております。

お忙しい中、多数のご参加有り難うございました。